

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 新日本建物

コード番号 8893 URL <http://www.kksnt.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 壽松木 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長兼グループ経営企画部長 (氏名) 佐藤 啓明

TEL 03-5962-0775

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,959	38.8	199	—	△9	—	△5	—
23年3月期第3四半期	5,734	△68.5	△2,633	—	△2,776	—	△1,286	—

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 △0百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △1,296百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△0.06	—
23年3月期第3四半期	△20.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,064	888	9.8
23年3月期	8,849	889	10.1

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 888百万円 23年3月期 889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	120.8	1,020	—	730	—	820	—	8.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	99,573,086 株	23年3月期	99,573,086 株
24年3月期3Q	725 株	23年3月期	725 株
24年3月期3Q	99,572,361 株	23年3月期3Q	62,680,086 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。

・1株当たり当期純利益の計算における普通株式には、普通株式と譲渡制限種類株式を含んでおります。

・平成23年12月末現在、「4.その他(4)発行済株式数(普通株式)」の期末発行済株式数には、普通株式98,695,886株、譲渡制限種類株式877,200株が含まれております。なお、平成24年2月3日付「譲渡制限種類株式の全株普通株式への転換完了及び自己株式(譲渡制限種類株式)の消却に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、譲渡制限種類株式につきましては、その全てについて取得請求権が行使され普通株式への転換が完了いたしました。また、当社が取得した譲渡制限種類株式につきましては、同日付取締役会において消却することを決議いたしました。

・決算補足説明資料は平成24年2月3日に当社ホームページに掲載いたします。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式

	年間配当金					配当金総額 (合計) 百万円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
23年3月期	円 銭 —	—				
24年3月期	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

※定款により、平成30年3月期まで配当は行わないこととなっております。

譲渡制限種類株式

	年間配当金					配当金総額 (合計) 百万円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
23年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00	—
24年3月期	—	0.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により設備投資において増加傾向にあるものの、タイ洪水によるサプライチェーンへの影響や円高の長期化、欧州の財政金融危機の顕在化など不安材料が多く、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが属する住宅不動産業界は、東日本大震災の影響による販売活動の抑制等、一時的な冷え込みはありましたが、新設住宅着工戸数は対前年実績を上回って推移するなど、首都圏エリアにおけるマンション・戸建市場は回復傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは、「株式会社新日本建物 事業再生計画」の初年度として黒字転換を果たすべく、流動化事業における専有卸物件及びマンション販売事業における買取再販物件などの販売活動に注力するとともに、新規事業用地の仕入活動を積極的に進め、たな卸資産の積み上げを図り、当第3四半期連結累計期間におきましても当該取り組みを着実に遂行してまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結会計期間における引渡し物件が少なかったことから、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は79億59百万円（前年同四半期比38.8%増）、営業利益は1億99百万円（前年同四半期は26億33百万円の営業損失）、経常損失は9百万円（前年同四半期は27億76百万円の経常損失）、四半期純損失は5百万円（前年同四半期は12億86百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

（流動化事業）

当第3四半期連結累計期間における流動化案件の販売件数は、前年同四半期比3件減の4件となり、売上高は40億89百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。営業損益は、営業利益3億78百万円（前年同四半期は15億77百万円の営業損失）となりました。

（マンション販売事業）

当第3四半期連結累計期間における販売戸数は、前年同四半期比66戸増の107戸となり、売上高は34億60百万円（前年同四半期比153.2%増）となりました。営業損益は、営業利益1億63百万円（前年同四半期は2億17百万円の営業損失）となりました。

（戸建販売事業）

当第3四半期連結累計期間における販売棟数は、前年同四半期比1棟増の9棟となり、売上高は3億68百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。営業損益は、営業損失36百万円（前年同四半期は69百万円の営業損失）となりました。

（その他）

当第3四半期連結累計期間は、建築工事請負等の売上高が前年同四半期と比べ減少したことなどから、売上高は40百万円（前年同四半期比92.1%減）となりました。営業損益は、営業損失62百万円（前年同四半期は9百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末と比べ2億15百万円増加（前期比2.4%増）し、90億64百万円となりました。流動資産は2億3百万円増加（前期比2.5%増）し、84億62百万円となり、固定資産は11百万円増加（前期比1.9%増）し、6億1百万円となりました。

流動資産の主な増加要因は、たな卸資産が4億12百万円増加（前期比6.0%増）したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末と比べ2億15百万円増加（前期比2.7%増）し、81億75百万円となりました。流動負債は11億40百万円増加（前期比43.5%増）し、37億64百万円となり、固定負債は9億24百万円減少（前期比17.3%減）し、44億11百万円となりました。

流動負債の主な増加要因は、短期借入金が12億27百万円増加（前期比191.7%増）し、前受金が2億30百万円増加（前期比63.6%増）した一方で、1年内返済予定の長期借入金が3億20百万円減少（前期比26.9%減）したことによるものであります。

固定負債の主な減少要因は、長期借入金が前期比8億15百万円減少（前期比15.8%減）したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前期末と比べ大幅な変動はなく、8億88百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績につきましては、平成23年11月7日発表の予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しく変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,331,196	956,111
受取手形及び売掛金	5,881	1,768
販売用不動産	529,196	—
仕掛販売用不動産	6,297,361	7,239,217
前渡金	—	47,650
その他	96,588	219,856
貸倒引当金	△1,325	△1,892
流動資産合計	8,258,899	8,462,711
固定資産		
有形固定資産	179,648	177,374
無形固定資産	19,591	11,539
投資その他の資産		
投資有価証券	389,868	393,701
その他	870,672	888,352
貸倒引当金	△869,531	△869,351
投資その他の資産合計	391,009	412,703
固定資産合計	590,248	601,617
資産合計	8,849,148	9,064,329
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	97,587	136,476
短期借入金	640,000	1,867,000
1年内返済予定の長期借入金	1,190,983	870,983
未払法人税等	4,890	2,420
前受金	362,716	593,468
預り金	20,584	17,054
賞与引当金	16,571	8,658
事業整理損失引当金	99,691	99,405
その他	191,038	168,838
流動負債合計	2,624,066	3,764,305
固定負債		
長期借入金	5,143,258	4,328,162
退職給付引当金	49,333	50,926
役員退職慰労引当金	10,343	—
事業整理損失引当金	67,619	—
その他	65,137	32,255
固定負債合計	5,335,691	4,411,344
負債合計	7,959,758	8,175,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	854,500	854,500
資本剰余金	1,246,952	40,983
利益剰余金	△1,203,293	△2,868
自己株式	△388	△388
株主資本合計	897,770	892,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,379	△3,546
その他の包括利益累計額合計	△8,379	△3,546
純資産合計	889,390	888,678
負債純資産合計	8,849,148	9,064,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,734,073	7,959,330
売上原価	6,716,108	6,743,985
売上総利益又は売上総損失(△)	△982,035	1,215,344
販売費及び一般管理費		
販売手数料	74,175	92,348
広告宣伝費	297,914	360,801
貸倒引当金繰入額	86,784	△829
役員報酬	88,759	35,252
給料及び手当	275,692	235,769
賞与引当金繰入額	8,438	7,394
役員退職慰労引当金繰入額	6,001	—
減価償却費	14,198	10,329
支払手数料	398,559	91,548
その他	400,451	183,071
販売費及び一般管理費合計	1,650,976	1,015,684
営業利益又は営業損失(△)	△2,633,011	199,659
営業外収益		
受取利息	1,566	612
受取配当金	1,803	1,705
受取地代家賃	69,086	22,343
違約金収入	3,680	180
その他	57,490	4,272
営業外収益合計	133,627	29,113
営業外費用		
支払利息	253,303	210,766
その他	24,124	27,676
営業外費用合計	277,427	238,443
経常損失(△)	△2,776,812	△9,670
特別利益		
固定資産売却益	39,370	—
関係会社株式売却益	14,846	—
投資有価証券売却益	8,666	917
賞与引当金戻入額	23,011	—
本社移転費用引当金戻入額	19,581	—
役員退職慰労引当金戻入額	374,929	1,176
債務免除益	2,828,509	5,370
特別利益合計	3,308,915	7,463

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
特別損失		
減損損失	508,858	—
投資有価証券売却損	6,030	—
投資有価証券評価損	129,244	917
前渡金評価損	1,050,000	—
貸倒損失	23,791	—
特別損失合計	1,717,924	917
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,185,821	△3,124
法人税、住民税及び事業税	10,164	2,420
法人税等調整額	90,490	—
法人税等合計	100,654	2,420
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,286,476	△5,544
四半期純損失(△)	△1,286,476	△5,544

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,286,476	△5,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,610	4,833
その他の包括利益合計	△9,610	4,833
四半期包括利益	△1,296,086	△711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,296,086	△711
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	流動化事業	マンション 販売事業	戸建 販売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,493,833	1,366,454	356,901	5,217,189	516,883	5,734,073	—	5,734,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,493,833	1,366,454	356,901	5,217,189	516,883	5,734,073	—	5,734,073
セグメント損失(△)	△1,577,317	△217,978	△69,131	△1,864,426	△9,667	△1,874,093	△758,917	△2,633,011

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、建築請負事業、仲介事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△758,917千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	流動化事業	マンション 販売事業	戸建 販売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,089,681	3,460,397	368,365	7,918,444	40,885	7,959,330	—	7,959,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,089,681	3,460,397	368,365	7,918,444	40,885	7,959,330	—	7,959,330
セグメント利益又は 損失(△)	378,866	163,207	△36,616	505,457	△62,256	443,200	△243,541	199,659

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、建築請負事業、仲介事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△243,541千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	854,500	1,246,952	△1,203,293	△388	897,770
当第3四半期連結累計期間末までの変動額					
欠損填補(注)	—	△1,205,969	1,205,969	—	—
四半期純損失	—	—	△5,544	—	△5,544
当第3四半期連結累計期間末までの変動額合計	—	△1,205,969	1,200,424	—	△5,544
当第3四半期連結累計期間末残高	854,500	40,983	△2,868	△388	892,225

(注) 平成23年6月28日開催の株主総会決議に基づき欠損填補を行っております。